

みなさんこんにちは。

アメリカ、ウィスコンシン州に来て早1か月半が経ちました。

空港に着陸した時から今まで毎日が驚きの連続で、刺激的な日々を送っています。ホストファミリーや現地のコーディネーターさんなどが暖かく迎え入れてくれて、とても幸せな環境に来られたと感じています。今までに Madison, Milwaukee, Chicago, Duluth など、1か月だとは思えないほどたくさんの場所に連れて行ってもらって、アメリカンフットボールも観戦もオーロラの観察もすることができました。全てがかけがえのない大切な経験です。



私の住んでいる場所は都市からは離れていて移動手段は車しかありません。東京では考えられないほど涼しくて、朝は0度近くにまで下がる日もあります。今、10月上旬は紅葉が見頃です。夏の間は8時ぐらいまで日が沈まないため、みんなが夜遅くまで活動的でした。まだ時差ぼけが治ってなかったころは少し疲れやすかったです。

しかし、留学前から聞いていた通り、初めの1か月は環境の違いからホームシックに悩まされました。引っ越しもしたことがない私にとって違う場所で一人で生活することが大きな挑戦でした。日本では普通にできていたことが、言葉がわからないだけでこんなにもできなくなってしまうことがとても苦痛でした。つらく感じていたのと同時に、白鷗ではたくさんの友達に囲まれて、楽しく日々を送っていたことを実感しました。今も日本が恋しいです。ただ、時間が経って少しずつできることが増えてきて、学校生活も楽しくなっています。アメリカ人はみんなとてもフレンドリーです。知らない私にも話しかけてくれて、スポーツで少しうまくできた時には全力で褒めてくれます。私はクロスカントリー（長距離走）のチームに所属していますが、レースの時はお互いをたくさん応援しあいます。とても辛いスポーツですがお互いの応援のおかげで頑張ることができます。



また、ホームカミングも体験してきました。友達とドレス

を選びに行って、そのドレスを着てパーティーに行くという、日本では考えられないようなイベントでしたが、日本でもやってほしいと思うぐらい楽しかったです。

この1か月半で英語で会話することに徐々に慣れてきました。英語力が向上したと実感できる日はまだまだ先になりそうですが、一日一日を大切に、いろんなことから学んで、着実に成長していきたいです。

次世代リーダー10期生 Y.K